

別紙様式 2

授業科目名	観光学総論	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	前期（4月5日～7月29日）
学部・学科等	シティライフ学部	曜日	水曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	2限（10:30～12:00）
標準対象年次	1学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	坂口豪 専任講師		
電話番号（代表者名）	028-650-6611 （学務課 浮須 [ウキス]）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業概要></p> <p>人々が観光をすることは生活に豊かさをもたらすとともに、それによって地域経済や産業が成立している場合がある。このような考え方から、2000年代以降、日本の社会・経済において観光の役割が重要視されている。そのため、観光に関する基礎的な内容を学習することは、現在の社会や経済の状況を的確にとらえるうえで有効である。本講義では、観光に関する基礎的な知識を幅広い観点から講義し、観光に対する学生の興味や関心を喚起するとともに、とくに観光関連産業の成立、まちづくりや地域経済における観光の役割を学習する。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光の定義・概念・関連用語・構造について理解し、説明することができる。 ・観光関連産業の主な特徴について理解し、説明することができる。 ・まちづくりにおける観光の役割について理解し、説明することができる。 <p><授業計画></p> <p>第1週 ガイダンス—観光とは何か—観光の定義や役割を理解する 第2週 観光の歴史①紀元前から近世にかけて—巡礼から娯楽や教養がつくる観光— 第3週 観光の歴史②観光の大衆化—ハードツーリズムとマスツーリズムの時代— 第4週 新しい観光のスタイル—ソフトツーリズムと癒しや学びを求める時代—（ハードツーリズムとの比較） 第5週 温泉観光地の形成と発展—交通網の発達や外部資本による観光開発に着目して 第6週 高原観光地の形成と発展—避暑地としての軽井沢や別荘地開発の過程に着目— 第7週 自然観光地の形成と発展—国立公園からエコツーリズム・ジオパークまで— 第8週 都市観光地の形成と発展—東京の観光の歴史とその発展 第9週 外国の都市観光地の形成と発展—欧州の都市観光の展開 第10週 テーマパーク型観光地の形成と発展 第11週 農村観光地の形成と発展—群馬県川場村における地域資源の見直しと道の駅かわば田園プラザの成功の秘密 第12週 世界遺産と観光—ヘリテージツーリズムの展開を探る 第13週 観光の諸問題—観光が引き起こすさまざまな現代的諸問題について理解する 第14週 栃木県の観光—栃木県内の観光の歴史・特徴、また最近の県内観光の動向・課題を理解する。 第15週 今後の観光の方向性 これまでの講義を振り返り、今後の観光の方向性を考える。</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法>教科書 なし 参考書 菊地俊夫編（2008）：『観光を学ぶ』二宮書店。（1,650円） 菊地俊夫編（2018）：『ツーリズムの地理学—観光から考える地域の魅力』二宮書店。（3,520円） JTB総合研究所編（2017）：『観光概論（第10版）』株式会社JTB総合研究所。（2,720円） JTB総合研究所編（2019）：『観光学基礎—観光に関する14章』株式会社JTB総合研究所。（2,300円） 竹内正人・竹内和江・山田浩之編（2018）：『入門 観光学』ミネルヴァ書房。（3,080円） 国土交通省観光庁『観光白書』（各年） https://www.mlit.go.jp/statistics/file000008.html</p> <p><成績評価法></p> <p>期末試験 60%、講義中のワーク 20%、事前・事後学習 15%、授業への取り組み 5%</p>		